



第4回大規模災害対策協議会を開催しました！

2024年3月7日（木）に第4回大規模災害対策協議会を開催しました。

今回は東日本大震災で甚大な被害を受けた旭市の状況を学ぶために旭市防災資料館を見学し、実際に被災された方から当時の状況を聴きました。当日は事務局を入れて11人の参加がありました。



全体の様子

はじめに、千葉県生協連尼崎専務より、近年、能登半島地震や大規模災害が頻発し甚大な被害をもたらしています。本日の協議会では災害対策の強化に向けた課題など議論を深めてまいりたいとあいさつがありました。

続いて防災資料館の見学をおこないました。旭市防災資料館は旭市に甚大な被害をもたらした東日本大震災の記憶を後世へ伝え、悲劇を繰り返さぬよう、2014年7月19日に開館しました。今回は防災資料館の宮本様より東日本大震災における旭市の被害について説明を受けました。



説明を受けている様子

① 初めに津波避難施設となっている防災資料館の屋上に上り、当時の町の様子や津波がどこまで押し寄せたのか、実際に建物を見ながら説明がありました。

② 旭市では震度5強の地震を観測し、その後の大津波などにより、16人もの死者及び行方不明者がありました。多くの命を奪ったのは地震発生から3時間後、3度目に押し寄せた大津波で、その高さは最大7.6mにも達しました。被害にあった大部分の人は1度目の津波で避難所に避難したが、津波が収まったので、次は来ないという思いから家に帰って片付けをしていた時に津波に襲われました。2度と被害者を出さないために大津波警報が出た時は速やかに避難をすること、津波は繰り返しやってくるので油断しないことが大切だと教えていただきました。

見学を終えてから、水島災害対策アドバイザーから能登半島地震における減災塾の活動について報告をいただきました。1月3日から現地に赴き活動をおこない、これからの防災は高齢者の対応が重要であることが報告されました。

パルスシステム千葉の辻岡さん、日本生協連中央地連の柳下さんより能登半島地震への対応状況について報告がありました。また各生協からもこの間の取り組みについて報告がありました。

次回は5月31日（金）におこないます。

以上